

Rotary 西尾ロータリー Weekly

2021-22 年度 岡田会長テーマ ～新しい友を作ろう～
第 3062 回例会 2022 年 3 月 29 日(火) 天気:曇 No.24

2021-22 年度 RI テーマ



泰仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 / 岡田光祥 幹事 / 大内基浩

クラブ会報委員 平岩博行 / 加藤浩道 / 山崎周彌

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <http://www.nishio-rotary.org>



【本日のプログラム】

司 会 本多 淳例会運営委員長 齊 唱 「我等の生業」
スピーカー 語り部ふみの会 主宰 田中ふみ枝氏 「吉良氏 800 年～御鶴城物語」



食事「寿和」

【会長挨拶】



今日は田中ふみ枝さんにお話しいただきます。実はコロナで何回も延期されて、本日やとの開催です。ここで田中ふみ枝さんに会えてホッとしました。

世の中が激しく変わりすぎて、どうなってしまうのかと不安になります。ロシアはすごく自分勝手だと思います。ああいう行動を見て、かつてソビエト連邦時代に今以上に勝手な行動を色々やっていたことを思い出しました。ソ連が崩壊してロシアになって、付き合いやすくなるのかと思えば、プーチン大統領になって途端に元のソ連が戻ってきたような気がします。世の中は難しいもので、力のバランスが大変重要だと言われた方が社会学者にいました。ウクライナも実はネオナチズムの極右勢力が政治グループの中に入っていて、それとの戦いが東部で起こっており、それを名目にロシアが攻め入ったのでは、とも言われています。今まではすごく微妙なところで平和を保っていたところの均衡が崩れたのだと思います。結局、犠牲者は一般市民と子どもたちです。こういう戦争も始める前に、もっと皆が話し合っている世界が作られれば良いと思います。日本も他人事ではありません。北方四島もありますし、尖閣諸島もありますし、台湾の帰属の問題もありますし、いつバランスが崩れて相手国が出てくるか分かりません。我々も禪を締めなおして、世界を見直して、平和がどういうことであるかをもう一度考え直していくことが大切だと思います。そういうことを考えずに普通に暮らせる日がくることを楽しみにしています。

【委員会報告】

〈出席委員会〉 岩瀬淳治委員長

本日の出席数 52名

3月1日のメイクアップ 17名

訂正出席率 100%

〈スマイルボックス委員会〉 岩崎智一副委員長

岡田光祥君 ようこそ西尾RCへ。田中ふみ枝様、本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

何とか孫二人が大学生になりました。おじいちゃんとしては“ほっ”としました。おかげでがっぼり取られました。

大内基浩君 田中ふみ枝様、鳥山ひろみ様、ようこそ西尾ロータリーへ。本日の卓話よろしくお祈りします。

岩崎智一君 いよいよ桜が満開ですね。うれしい。

三浦康彦君 田中ふみ枝さんようこそ、スピーカー宜しくお願いします。

本日の例会丸テーブルで、周りの人と顔を見ながらの出席は良いですね。

杉田明弘君 田中ふみ枝さんへ お父様にはお世話になります。お元気そうで何よりです。西尾合唱団頑張って下さい。

坂田吉郎君 田中ふみ枝様、卓話楽しみにいたしております。

岩瀬正広君 田中ふみ枝様、鳥山ひろみ様、今日は楽しみにしておりました。気持ちよくお聞きしたいと思います。

山崎周彌君 親しい友人から思いやりのご好意を頂きました。感謝です。

柴田高広君 今月 85 才の母。運転を諦めたので送って行きますが、先日西尾ゴルフで86でまわってきました。エーじシュート一歩手前？健康もゴルフもまだまだ勝てません(笑)

鳥山欽示君 娘の結婚式を無事終える事が出来ました。幸せを祈りつつ感謝。

加藤敦成君 石川哲朗先輩、本多淳さん、平岩さん、西尾中学校でお世話になりました。

長女が結婚しました。結婚式はコロナで計画できていませんが、現在企画中で楽しみにしています。

山尾ひろみ君 息子の入学を前に、本人の希望で博多と湯布院に行きました。二人で旅行するなんてこれで最後になるだろうと感慨深かったです。

犬塚富雄君 結婚記念日の花が届きました。有難うございます。

本多 淳君 高校の次年度のPTA役員人事を無事に決める事が出来ました。

神谷 明君 何にも良い事はありませんが…



【会員卓話】

語り部ふみの会 主宰 田中ふみ枝氏

「吉良氏 800 年～御鶴城物語」



22歳で語り部に出会い30年に至ります。故郷西尾に生まれ、西尾で育ち、今も西尾に暮らしています。西尾という場所は改めて素晴らしい場所だと、年を取れば取るほど思います。「西尾」という言葉を紐解くと、西は日が沈む場所、夕日の場所です。尾は物事の結びを司ると言われます。つまり人生で言えば晩年、豊かに知識もあり、ゆとりもある、ゆったりとした姿が「西尾」という言葉から浮かび上がってきます。どっしりとした、何事にも動じないような場所であると思っています。語りをしていると、様々な物語に出会い、時には歴史を紐解きます。西尾は海と川の交わるところで、最も古代から栄える場所です。山の幸は川によって運ばれ、遙か海の遠くから様々なものが運ばれ、人が運ばれ、文化が生まれる。西尾はそんな豊かな場所です。矢作川は日本武尊がつけたと言われる名前ですが、昔は八面山の懐、矢作古川が本流でした。川を遡ると岡崎があります。岡崎のお城は龍城神社という名前があるように、古代は「龍頭山」と呼ばれていたそうです。では西尾の城はというと鶴城という名前がついているように、鶴がシンボルとなっています。が、少し読み方を変えると「鶴城(つるぎ)」と読めます。西尾城は剣の城だと考えています。剣と言うと有名なのは草薙の剣ですが、もう一つ非常に有名な剣があります。天下を取る剣がかつて西尾城にありました。本日は吉良氏800年ということで御剣の話をしようと思い心に決めてまいりました。なぜ御剣が西尾にあったのか。偶然はありませんので、何かこの西尾という土地に縁があり、もたらされたということです。



これはあくまでフィクションですが、偶然は無いと思っています。きっといつか天下人が西尾に現われ出ると信じています。本日は素晴らしい機会を頂きまして、心より感謝申し上げます。西尾の歴史や大好きな西尾をもっともっと盛り上げられるように、物語を語り継いでいきたいと思えます。語り部ふみの会を主催しており、生徒を募っています。最高齢は70代、1番小さな方は小学校3年生のお子さんです。語ることは楽しく、故郷が違って見える、楽しい場所に見えてくる活動です。体験レッスンもしています。